

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和3年度

施策コード	431	施策	青少年の健全育成
管理事業	地域・青少年教育事業	所管部局	地域教育部

1	所管室課	まなびの支援課	事業名	こども110番見まもり活動支援事業
事業概要				
こども110番見まもり活動支援				
活動実績				
各小学校区18,000円以内で見まもり活動に係る消耗品を支給している。令和3年度は32校に見まもり活動に係る消耗品を支給した。また、「こども110番の家」運動協力者に旗及びプレート配布しているが、令和3年度は、コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、新規参加者の募集活動を縮小しているPTA等の推進団体が多く、コロナ前より配布数が少なくなっている。				
令和3年度	旗	1,541本	プレート	397枚
令和2年度	旗	1,602本	プレート	549枚
令和元年度	旗	1,417本	プレート	841枚
年度		R2	R3	評価の視点
決算額(千円)		1,475	1,465	※課題があるものは■ □ 市民ニーズ、社会的役割 □ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 ■ 持続可能性
一般財源の比率(%)		100.0	100.0	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				
少ない経費で子供の安全確保に寄与していると考えているが、見まもり活動を行う各団体にアンケートを行い、今後もより有効な支援を実施していく。				
今後の実施計画の方向性・内容				
継続				

2	所管室課	青少年室	事業名	青少年育成事業
事業概要				
青少年指導員活動、吹田市成人祭、吹田市こども会スポーツ大会、吹田青少年野外コンサート、子供文化鑑賞、ヤングフェスティバル、自然体験活動・環境教育推進、山の学校・海の学校(さわやか元気キャンプ)				
活動実績				
青少年の仲間づくりや主体的な活動を支援し、豊かな人間性と社会性を育むことを目的として、地域の青少年関係団体と連携しながら様々な事業を実施した。				
【主な活動実績】				
(1) 山の学校・海の学校(さわやか元気キャンプ) 不登校やひきこもりなどの課題を抱える青少年を対象に、自然体験活動を通じて生きる力を育むキャンプを年2回実施した。 ・参加人数 令和3年度・・・35人 令和2年度・・・4人 令和元年度・・・15人				
(2) 成人祭 新成人を祝い励まし、社会人としての自覚を促すため、「成人祭」を市立サッカースタジアムで開催した。 ・対象新成人 令和3年度・・・3,748人 令和2年度・・・3,880人 令和元年度・・・4,010人				
年度		R2	R3	評価の視点
決算額(千円)		18,797	19,653	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割 □ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 □ 持続可能性
一般財源の比率(%)		100.0	99.2	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				
「山の学校・海の学校」については、事業実施後、参加者が学校に登校できるようになったという事例もあり、ニーズと意義はあるものと考えている。一人でも多くの児童生徒に機会を提供できるよう、また一人ひとりの状況に合わせて選択できるように、令和4年度から開催回数を2回から4回に増やし、よりきめ細やかな支援に取り組む。				
今後の実施計画の方向性・内容				
継続				

3	所管室課	青少年室	事業名	青少年指導事業
事業概要				
吹田市青少年リーダー講習会、吹田市・若狭町こども会リーダー交歓会、吹田市スカウトリーダー養成、青少年指導者講習会、地区青少年健全育成事業への助成、青少年健全育成保険加入等、非行防止・環境整備、青少年問題協議会				
活動実績				
青少年を地域で見守るとともに、青少年指導者を養成することを目的として、地域の青少年関係団体と連携しながら様々な事業を実施しているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため、「青少年リーダー講習会」及び「吹田市・若狭町リーダー交歓会」は中止した。				
【主な活動実績】				
(1) 地区青少年健全育成事業への助成 地区青少年対策委員会が実施する青少年健全育成事業への助成を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となる行事も多く、その余剰金は返納されている。 ・補助金額 令和3年度・・・6,949千円 令和2年度・・・7,323千円 令和元年度・・・14,995千円				
(2) 青少年指導者講習会 青少年に関する指導者を対象に、「熱中症対策」や「コロナ禍における感染予防対策」など安全管理に関する講習会をオンライン配信で実施し、指導者の育成支援に取り組んだ。 ・参加者数 令和3年度・・・61人 令和2年度・・・0人 令和元年度・・・254人				
年度		R2	R3	評価の視点
決算額(千円)		8,126	7,665	※課題があるものは■ □ 市民ニーズ、社会的役割 □ 有効性 ■ 効率性 □ 公平性 □ 持続可能性
一般財源の比率(%)		100.0	100.0	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				
「吹田市・若狭町リーダー交歓会」については、若狭町では現在もリーダー活動が継続して行われているが、吹田市では縮小傾向にあり、リーダー育成が思うように進んでいない現状がある。フレンドシップ協定を結んでいる吹田市と若狭町の子どもたちが交流するこの事業はとても意義あるものと考えられるため、事業の主旨を活かしつつ、対象の見直し、参加者の募集方法やボランティアリーダースタッフの確保等について関係団体等と協議していく必要がある。				
今後の実施計画の方向性・内容				
継続				

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名